



332	施設名	斎場
	部局(課)名	環境産業部（環境衛生課）
	所在地	字萩の台70-1
	施設面積	1,116.87㎡
	建設年度	H9ほか

※斎場地蔵堂含む

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート 2階建ほか	台帳価格	627,174,500円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H9＋耐用年数50年×1.2＝R39ほか

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	949人	53,380千円
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 市民生活に必須の施設のため、適切な維持・補修により、施設の長寿命化に努める。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

業務の特殊性、専門性から当面は直営を維持していくが、今後公民連携を検討していく。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

適切な維持・補修等により施設の延命化に努め継続的に使用する。

4 管理上の課題等

特になし。

5 管理に関する実施方針

定期点検業者からの報告に基づき、適切な修繕作業等を実施し、施設の延命化を目指していく。

6 管理に関する実施計画

総合計画実施計画において、H30年度～H34年度までの5年間で計画を策定。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.332

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	斎場火葬炉設備タッチパネル更新他	6,848	
H30	斎場1～3号炉火葬炉制御盤シーケンサー交換修繕他	5,973	
R1	耐火台車上部交換、火葬炉計装部品交換、台車モーター交換	7,193	
R2	炉内耐火物セラミックス部分補修、主燃バーナーコーン先端部等交換	6,606	
R3	耐火台車上部交換、微差圧発信機等交換	4,187	
R4	炉内耐火物セラミックス部分補修、バグフィルターろ布等交換	9,000	
R5	耐火台車上部交換、計装部品交換、主燃バーナーコーン先端部等交換	5,337	
R6	炉内耐火物セラミックス部分補修、火葬炉制御盤修繕	5,220	
R7	耐火台車上部、誘引排風機等交換	4,843	
R8	炉内耐火物セラミックス部分補修、主燃バーナーコーン先端部等交換	5,284	
R9	—	5,000	
R10	—	5,000	
R11	—	5,000	
合 計		75,491	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	17,978	17,397	17,024	
修繕費	9,234	7,758	7,193	
光熱水費等	8,744	9,639	9,831	
事業運営費	16,914	20,240	23,859	
合 計	34,892	37,637	40,883	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	1,120	810	550	
その他	4,785	5,190	5,814	
合 計	5,905	6,000	6,364	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	976	916	949	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



333	施設名	米代川河川緑地（トイレ）
	部局(課)名	都市整備部（都市整備課）
	所在地	字中嶋
	施設面積	4.03㎡
	建設年度	H3

※2棟

1 施設の概要

構造・階数	軽量鉄骨造	台帳価格	860,050円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H3＋耐用年数24年×1.2＝R2

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 124千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担築浅	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討
「基本的な方針の考え方」 不特定多数の河川緑地利用者のためのトイレであり、安全確保を前提に機能維持のための修繕を実施し、施設の長寿命化を図り継続使用する。 老朽化により建替えが必要な場合は、施設の利用状況等を勘案し統廃合について検討する。		

※集約・複合化の検討について

更新の際、統合について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [10年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し長寿命化を図り、継続的に使用する。

4 管理上の課題等

経年劣化が進んでいる。

5 管理に関する実施方針

当面は施設の損傷が小さいうちから計画的に対策を行う予防保全型管理を実施し、長寿命化と修繕や建替えにかかる費用の削減を図る。

6 管理に関する実施計画

経年劣化に伴う修繕については、計画的な実施に努める。

実績及び今後の修繕等の計画

23－その他施設No.333

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	105	96	107	
修繕費	0	0	0	
光熱水費等	105	96	107	
事業運営費	0	0	0	
合 計	105	96	107	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	0	0	0	
その他	0	0	0	
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	不明	不明	不明	※利用者数を把握していないため

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



334	施設名	水沢参考林駐車場便所
	部局(課)名	二ツ井地域局（建設課）
	所在地	田代字屋布袋153
	施設面積	9.98㎡
	建設年度	H26

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋	台帳価格	1,416,250円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	H26＋耐用年数15年×1.2＝R14

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 38千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担築浅	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討
「基本的な方針の考え方」 仁鮎水沢スギ植物群落保護林（日本一高い秋田杉）入口部に設置しており、来訪者に対する公衆便所として必要な施設である。安全確保を前提に機能維持のための修繕を実施し、施設の長寿命化を図り継続使用する。 老朽化により建替えが必要な場合は、施設の利用状況等を勘案し統廃合について検討する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化については検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し長寿命化を図り、継続的に使用する。

4 管理上の課題等

H26年度に改築、水源が沢水のため定期的な維持管理が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は施設の損傷が小さいうちから計画的に対策を行う予防保全型管理を実施し、長寿命化と修繕や建替えにかかる費用の削減を図る。

6 管理に関する実施計画

経年劣化に伴う修繕については、計画的な実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.334

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	トイレ給水管、取水口修繕	45	
R1	トイレ給水管修繕	34	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		79	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	4	49	38	
修繕費		45	34	トイレ給水管、取水口
光熱水費等	4	4	4	汲取料、保険料
事業運営費				
合 計	4	49	38	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



335	施設名	七座山便所
	部局(課)名	二ツ井地域局（建設課）
	所在地	七座山国有地内
	施設面積	9.98㎡
	建設年度	H26

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋	台帳価格	1,337,970円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H26＋耐用年数15年×1.2＝R14

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 16千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担築浅	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討
「基本的な方針の考え方」		
七座山登山道入口部に設置しており、来訪者に対する公衆便所として必要な施設である。 安全確保を前提に機能維持のための修繕を実施し、施設の長寿命化を図り継続使用する。 老朽化により建替えが必要な場合は、施設の利用状況等を勘案し統廃合について検討する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化については検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し長寿命化を図り、継続的に使用する。

4 管理上の課題等

H26年度に改築、水源が沢水のため定期的な維持管理が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は施設の損傷が小さいうちから計画的に対策を行う予防保全型管理を実施し、長寿命化と修繕や建替えにかかる費用の削減を図る。

6 管理に関する実施計画

経年劣化に伴う修繕については、計画的な実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.335

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	トイレ給水管修繕	10	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		10	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	9	4	16	
修繕費	0	0	10	トイレ給水管
光熱水費等	9	4	6	汲取料、保険料
事業運営費				
合 計	9	4	16	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



336	施設名	旧日影小学校
	部局(課)名	教育部（教育総務課）
	所在地	朴瀬字日影71番地の2
	施設面積	978.00㎡
	建設年度	S34

1 施設の概要

構造・階数	木造 2階建	台帳価格	94,646,500円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S34＋耐用年数24年×1.2＝S63

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 施設は廃止しており、活用見込みが無いため解体を行う。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進捗しており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

老朽化が進捗しており、公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

3 目標使用年数 [10年以内]

活用の見込みがないため、令和3年度以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

解体を実施。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.336

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



337	施設名	旧鶴形保育所
	部局(課)名	市民福祉部（子育て支援課）
	所在地	字町後47-2
	施設面積	221.62㎡
	建設年度	S55

※物置含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	15,894,000円
行政・普通 財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S55＋耐用年数22年×1.2＝H18

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 8千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、活用していない。 老朽化による危険性が生じた場合や多額の改修費用が生じた場合は解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進捗しており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

老朽化が進捗しており、公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

保育所廃止時に、地域からの利活用要望もなく、現在、民間等への斡旋はしていないが、譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [10年以内]

耐用年数の大幅な経過から、10年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

修理が必要になった場合は、解体する。

6 管理に関する実施計画

解体費用概算5,656千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.337

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	8	8	8	
修繕費				
光熱水費等	8	8	8	
事業運営費				
合 計	8	8	8	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



338	施設名	旧福田保育所
	部局(課)名	市民福祉部（子育て支援課）
	所在地	浅内字向山1-3
	施設面積	193.26㎡
	建設年度	S44

※物置含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	12,104,733円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S44＋耐用年数22年×1.2＝H7ほか

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 7千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、活用していない。 老朽化による危険性が生じた場合や多額の改修費用が生じた場合は解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進捗しており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

老朽化が進捗しており、公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

保育所廃止時に、地域からの利活用要望もなく、現在、民間等への斡旋はしていないが、譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [10年以内]

耐用年数の大幅な経過から、10年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

修理が必要になった場合は、解体する。

6 管理に関する実施計画

解体費用概算2,500千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.338

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	7	7	7	
修繕費				
光熱水費等	7	7	7	
事業運営費				
合 計	7	7	7	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



339	施設名	旧常盤保育所
	部局(課)名	市民福祉部（子育て支援課）
	所在地	常盤字上本郷158
	施設面積	328.48㎡
	建設年度	S61

※物置含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	35,233,870円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S61＋耐用年数22年×1.2＝H24ほか

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 22千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討
「基本的な方針の考え方」 現在、倉庫として活用しており、また、一部では常盤診療所として活用している。 老朽化による危険性が生じた場合や多額の改修費用が生じた場合は解体を検討することとし、その際は、倉庫の代替施設の確保や常盤診療所の機能移転について検討する。		

※集約・複合化の検討について

常盤診療所との複合施設となっている。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

空スペースを倉庫として活用しており、公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

保育所廃止時に、地域からの利活用要望もなく、現在、民間等への斡旋はしていないが、譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [10年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

現施設について、施設の老朽化の度合いにより、費用対効果を検証しながら、必要に応じて修繕し、維持管理を継続していくが、地域全体の施設活用の検討によっては、機能移転も視野に入れる。

6 管理に関する実施計画

解体費用概算9,855千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.339

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	21	33	22	
修繕費		12		
光熱水費等	21	21	22	
事業運営費				
合 計	21	33	22	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



340	施設名	旧天神小学校スキー場ヒュッテ
	部局(課)名	教育部（教育総務課）
	所在地	麻生字中倉下74-3
	施設面積	35.00㎡
	建設年度	S48

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	2,100,000円
行政・普通 財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S48＋耐用年数24年×1.2＝H14

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 施設は廃止しており、活用見込みが無いため解体を行う。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進捗しており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

老朽化が進捗しており、公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

3 目標使用年数 [10年以内]

令和2年度解体を行う。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

解体を実施。

6 管理に関する実施計画

特になし。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.340

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



341	施設名	旧錦織邸
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	松美町160
	施設面積	143.02㎡
	建設年度	S42

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建 一部2階建	台帳価格	14,302,000円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数到来年度	S42+耐用年数22年×1.2=H5

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 1千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、能代市民ミュージカルを支援する会に貸付しているが、活用が無くなった場合は解体を検討する。 老朽化しており、危険性が確認された場合は、借受人と移転、解体について協議する。		

※集約・複合化の検討について

貸付している施設であり集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

借受人等への譲渡を検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の貸付、活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。
改修費用は原則借受人の負担としている。

5 管理に関する実施方針

現在、能代市民ミュージカルを支援する会に貸付している。老朽化による危険性が生じた場合は、借受人と移転、解体について協議する。

6 管理に関する実施計画

老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算4,291千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.341

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	1	1	1	
修繕費	0	0	0	
光熱水費等	1	1	1	建物総合損害共済分担金
事業運営費	0	0	0	
合 計	1	1	1	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	45	45	45	建物貸付収入
その他	0	0	0	
合 計	45	45	45	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	1団体	1団体	1 団体	能代ミュージカルを支援する会

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



342	施設名	旧青少年ホーム
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	青葉町72
	施設面積	543.42㎡
	建設年度	S36ほか

※物置を含む

1 施設の概要

構造・階数	コンクリートブロック造 平屋建ほか	台帳価格	38,555,843円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S36＋耐用年数34年×1.2＝H14

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 10,002千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、能代市シルバー人材センターに貸付しているが、活用が無くなった場合は解体を検討する。 老朽化しており、危険性が確認された場合は、借受人と移転、解体について協議する。		

※集約・複合化の検討について

貸付している施設であり集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

借受人等への譲渡を検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の貸付、活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。
改修費用は原則借受人の負担としている。

5 管理に関する実施方針

現在、能代市シルバー人材センターに無償貸付している。老朽化による危険性が生じた場合は、借受人と移転、解体について協議する。

6 管理に関する実施計画

老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算16,303千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.342

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	屋根修繕に対する補助金交付	2,000	商工港湾課
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		2,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	2	2	2,002	
修繕費	0	0	2,000	屋根修繕補助（商工）
光熱水費等	2	2	2	建物総合損害共済分担金
事業運営費	8,000	8,000	8,000	高齢者就業機会確保事業費補助金
合 計	8,002	8,002	10,002	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	0	0	0	無償貸付
その他	0	0	0	
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	1団体	1団体	1団体	能代市シルバー人材センター

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



343	施設名	旧第3分団消防器具置場
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	南元町6
	施設面積	56.42㎡
	建設年度	S39

1 施設の概要

構造・階数	コンクリートブロック造 平屋建	台帳価格	1,058,498円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S39＋耐用年数34年×1.2＝H17

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 1千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 平成28年度までは、民間へ貸付していた。 現在は使用されておらず、老朽化が進行しており活用は難しいことから解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は譲渡する。

3 目標使用年数 [10年以内]

活用予定が無いことから10年以内に解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

現在、倒壊等の危険性はないと思われるが、解体までの間は定期的に監視を行う。

6 管理に関する実施計画

解体までの間、危険が生じた場合は修繕を実施する。
解体費用概算1,693千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.343

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	1	1	1	
修繕費	0	0	0	
光熱水費等	1	1	1	建物総合損害共済分担金
事業運営費	0	0	0	
合 計	1	1	1	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	0	0	0	
その他	0	0	0	
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



344	施設名	旧失業対策就労者詰所
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	能代町字中川原25-15
	施設面積	59.62㎡
	建設年度	S46

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	1,489,200円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S46＋耐用年数24年×1.2＝H12

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 2千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、倉庫として活用しており公用車のタイヤ等を保管している。代替施設の確保に努め、それまでは最低限の修理をしながら活用するが、老朽化による危険性が生じた場合は解体する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は譲渡する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

現在、倉庫として利用しており公用車のタイヤ等を保管している。新たな保管場所が確保に努め、それまでは最低限の修理をしながら利用するが、老朽化による危険性が生じた場合や改修費用が高額となった場合は、解体を進める。

6 管理に関する実施計画

解体までの間は、老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算1,789千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.344

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	2	2	2	
修繕費	0	0	0	
光熱水費等	2	2	2	建物総合損害共済分担金
事業運営費	0	0	0	
合 計	2	2	2	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	0	0	0	
その他	0	0	0	
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



345	施設名	旧第2分団車庫兼休憩所
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	清助町440-4
	施設面積	54.83㎡
	建設年度	S42

1 施設の概要

構造・階数	コンクリートブロック 2階建	台帳価格	1,115,745円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S42＋耐用年数34年×1.2＝H20

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 1千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、下川反第一、第二自治会に無償貸付しているが、活用が無くなった場合は解体を検討する。 老朽化しており、危険性が確認された場合は、借受人と移転、解体について協議する。		

※集約・複合化の検討について

貸付している施設であり集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は譲渡する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。
改修費用は原則借受人の負担としている。

5 管理に関する実施方針

現在、下川反第一、第二自治会に無償貸付している。老朽化による危険性が生じた場合は、借受人と移転、解体について協議する。

6 管理に関する実施計画

解体までの間は、老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算1,645千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.345

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	1	1	1	
修繕費	0	0	0	
光熱水費等	1	1	1	建物総合損害共済分担金
事業運営費	0	0	0	
合 計	1	1	1	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	0	0	0	無償貸付
その他	0	0	0	
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



346	施設名	福祉サービスセンター
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	字宮ノ前2-1
	施設面積	627.35㎡
	建設年度	S47

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート2階建 一部鉄骨平屋建	台帳価格	50,200,946円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S47＋耐用年数47年×1.2＝R10

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 121千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、社会福祉法人に福祉施設として無償貸付している。令和4年度に移転が予定されていることから、令和5年度以降に解体を検討する。 大きな改修についての指摘等はないものの、福祉施設としての貸付けであり、借用期間中においては危険の無いよう、借受人において機能維持を図っていく。		

※集約・複合化の検討について

貸付している施設であり集約・複合化は検討していないが、棟続きのデイサービスが令和元年度で事業廃止する。廃止後施設の活用について、借受人と協議する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

借受人等への譲渡を検討する。

3 目標使用年数 [10年以内]

今後の貸付、活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。
改修費用は原則借受人の負担としている。

5 管理に関する実施方針

老朽化による危険性が生じた場合は、借受人と移転、解体について協議する。

6 管理に関する実施計画

老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算18,821千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.346

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	116	291	121	
修繕費	0	0	0	
光熱水費等	116	291	121	
事業運営費	0	0	0	
合 計	116	291	121	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	0	0	0	無償貸付
その他	0	0	0	
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	1団体	1団体	1団体	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



347	施設名	旧第6分団向能代班消防器具置場
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	向能代字上野
	施設面積	19.87㎡
	建設年度	S40

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	292,900円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S40+耐用年数15年×1.2=S58

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 1千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、向能代第三自治会に無償貸付（資源ごみ回収所）しているが、活用が無くなった場合解体する。 老朽化しており、危険性が確認された場合は、借受人と移転、解体について協議する。		

※集約・複合化の検討について

貸付している施設であり集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は譲渡する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の貸付、活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。
改修費用は原則借受人の負担としている。

5 管理に関する実施方針

現在、向能代第三自治会に無償貸付している。老朽化による劣化がひどく再利用の可能性は低いと見られ、貸付終了後は解体を進める。
貸付期間中に解体する場合は、機能移転について借受人と協議する。

6 管理に関する実施計画

老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算597千円。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	1	1	1	
修繕費	0	0	0	
光熱水費等	1	1	1	建物総合損害共済分担金
事業運営費	0	0	0	
合 計	1	1	1	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	0	0	0	無償貸付
その他	0	0	0	
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



348	施設名	旧身体障害者憩の家
	部局(課)名	総務部 (財政課)
	所在地	落合字古釜谷地26
	施設面積	355.76㎡
	建設年度	S47

※車庫、物置

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	12,019,559円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数到来年度	S47＋耐用年数22年×1.2＝H10

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 13千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、民間事業者に貸付しているが、利用計画が無くなった場合解体する。 老朽化しており、危険性が確認された場合は、借受人と移転、解体について協議する。		

※集約・複合化の検討について

貸付している施設であり集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

借受人等への譲渡を検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の貸付、活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。
改修費用は原則借受人の負担としている。

5 管理に関する実施方針

老朽化による危険性が生じた場合や改修費用が著しく高額となった場合は、借受人と移転、解体について協議する。

6 管理に関する実施計画

老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算10,673千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.348

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	13	13	13	
修繕費	0	0	0	
光熱水費等	13	13	13	建物総合損害共済分担金
事業運営費	0	0	0	
合 計	13	13	13	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	157	157	99	土地・建物貸付収入
その他	0	0	0	
合 計	157	157	99	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	1団体	1団体	1団体	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



349	施設名	旧向能代留守家庭児童会施設
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	向能代字上野越83
	施設面積	80.38㎡
	建設年度	S56

1 施設の概要

構造・階数	軽量鉄骨造一部木造 平屋建	台帳価格	4,572,000円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S56+耐用年数27年×1.2=H25

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 1千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 現在、倉庫として活用しているが、老朽化が進んでいるため新たな保管場所について協議、確保し、解体について検討する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は譲渡する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

現在、倉庫として利用しており防災関係用品等を保管している。老朽化による危険性が生じた場合や改修費用が著しく高額となった場合は、解体を進める。
解体にあたっては、保管している物資等の移転先を協議する。

6 管理に関する実施計画

解体までの間は、老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算2,412千円。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	1	1	1	
修繕費	0	0	0	
光熱水費等	1	1	1	建物総合損害共済分担金
事業運営費	0	0	0	
合 計	1	1	1	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	0	0	0	
その他	0	0	0	
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



350	施設名	旧荷上場老人憩の家
	部局(課)名	二ツ井地域局（総務企画課）
	所在地	荷上場字鍋良子36
	施設面積	105.99㎡
	建設年	S51

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	4,700,000円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数到来年度	S51+耐用年数22年×1.2=H14

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 伝統芸能の物品倉庫として無償貸付している。 修繕等については借受人の負担としているが、老朽化による危険性が生じた場合や更新の必要性が生じた場合は借受人と協議する。活用見込みが無ければ解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

貸付けしており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

貸付けしており、民間等への斡旋はしていないが、借受人等から譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

修理が必要になった場合は、危険回避のための必要最小限にとどめ、解体を進める。

6 管理に関する実施計画

老朽化が進行しているため解体までの間は、定期的に監視を行う。
解体費用概算3,180千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.350

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



351	施設名	旧外国青年用住宅（事務所・住宅）
	部局(課)名	二ツ井地域局（総務企画課）
	所在地	二ツ井町字五千苅20-4
	施設面積	296.84㎡
	建設年	S55（H11取得）

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	15,029,950円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数到来年度	S55+耐用年数24年×1.2=H20

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」		
事務所・住宅については、老朽化等により危険性が確認された場合は、大規模な修繕は行わず解体を進める。平成31年3月にNPO法人 二ツ井町観光協会と同協会の保管庫として、令和4年3月まで無償貸付契約を締結している。期間満了後、活用の見込みがなければ解体を検討する。 車庫については、平成12年から二ツ井地区区長連絡協議会に各町内会で所有する組み立てテントの保管場所として無償貸付している。修繕等については借受人の負担としているが、老朽化による危険性が生じた場合や更新の必要性が生じた場合は借受人と協議する。活用見込みが無ければ解体を検討する。 ポンプ小屋、物置については、現状で活用見込みが無いことから解体を検討する。老朽化等により危険性が確認された場合は、大規模な修繕は行わず解体を進める。		

※集約・複合化の検討について

老朽化が進んでおり集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

老朽化が進んでおり譲渡は難しいと考えているが、譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [10年以内]

老朽化が進んでおり、10年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

修理が必要になった場合は、危険回避のための必要最小限の修理にとどめ、解体を進める。

6 管理に関する実施計画

解体までの間は、老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算4,747千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.351

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



352	施設名	旧仁鮎保育園
	部局(課)名	二ツ井地域局（総務企画課）
	所在地	二ツ井町仁鮎字後山138-1
	施設面積	631.59㎡
	建設年	S54

※物置含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	54,854,650円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数到来年度	S54+耐用年数22年×1.2=H17

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	令和 2 年度の解体
「基本的な方針の考え方」 老朽化等により危険性が確認されたため解体を進める。		

※集約・複合化の検討について

空きスペースを倉庫として活用しており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

倉庫として活用しているため民間等への斡旋はしていないが、譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [10年以内]

老朽化が進んでおり、10年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

現在、雨漏り箇所がある。耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

修理が必要になった場合は、危険回避のための必要最小限にとどめ、解体を進める。

6 管理に関する実施計画

解体までの間は、老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算18,679千円（物置含む）

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.352

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



353	施設名	旧法務局（書庫）
	部局(課)名	二ツ井地域局（総務企画課）
	所在地	二ツ井町字下野川端28
	施設面積	181.00㎡
	建設年	S39（H4取得）

1 施設の概要

構造・階数	コンクリートブロック造	台帳価格	20,815,000円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S39+耐用年数41年×1.2=H25

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 建築から53年経過しており、書庫部分の雨漏り等が発生しているが修繕は行わず、活用を止めている。休憩室部分を、取得当初から11区町内会の集会所として無償貸付しており、修繕等については借受人の負担としている。 活用が無くなった場合は解体を進めることとするが、老朽化等により危険性が確認された場合は、大規模な修繕は行わず、機能移転、解体について借受人と協議する。		

※集約・複合化の検討について

空きスペースを倉庫として活用しており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

倉庫として活用しているため民間等への譲渡はしていないが、譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の活用期間を10年と見込み、令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

修理が必要になった場合は、危険回避のための必要最小限にとどめ、解体を進める。

6 管理に関する実施計画

解体までの間は、老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算5,430千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.353

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



354	施設名	分譲団地旧水道ポンプ室
	部局(課)名	二ツ井地域局（総務企画課）
	所在地	二ツ井町字稗川原79-75
	施設面積	19.25㎡
	建設年度	H8

1 施設の概要

構造・階数	木造・平屋建	台帳価格	16,996,030円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	H8＋耐用年数15年×1.2＝H26

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	—	
キャッシュフローと老朽化度	—	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 平成30年3月にさくら新町町内会と令和20年3月末までの期間で無償貸付の契約を交わし、町内会の格納小屋として活用している。 修繕等については借受人の負担としているが、老朽化による危険性が生じた場合や更新の必要性が生じた場合は借受人と協議する。活用見込がなければ解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

さくら新町町内会に貸付けしており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

さくら新町町内会に貸付けしており、民間等への譲渡はしていないが、譲渡申請があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の活用期間を20年と見込み、令和19年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

現状では、老朽化による傷みは確認されないため、当面修繕は必要ないものと考えている。

5 管理に関する実施方針

特になし。

6 管理に関する実施計画

特になし。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



355	施設名	旧市民体育館
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	富町198(富町1番3号)
	施設面積	2,474.08㎡
	建設年	S36

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート 2階建	台帳価格	235,786,009円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S36＋耐用年数47年×1.2＝H29

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	435千円
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 老朽化が進んでおり、現在、天空の不夜城の倉庫として活用しているが、活用が無くなった場合は解体について検討する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

普通財産であり公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

譲渡申請があった場合は譲渡する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

今後の活用期間を10年と見込み、平成39年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（雨漏り等）が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

現在、天空の不夜城の倉庫として活用しており、今後の利用については担当課と協議、検討する。老朽化による危険性が生じた場合や改修費用が著しく高額となった場合は、解体について協議する。

6 管理に関する実施計画

解体までの間は、老朽化が進行しているため定期的に監視を行う。
解体費用概算74,223千円。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.355

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備修繕	52	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		52	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	280	347	435	
修繕費	52	0		
光熱水費等	228	347	435	電気料、保険料
事業運営費				
合 計	280	347	435	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



356	施設名	旧市民体育館車庫兼作業員詰所
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	富町1-3
	施設面積	57.76㎡
	建設年度	S57

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	5,487,200円
行政・普通 財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S57+耐用年数17年×1.2=H14

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 2千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を検討
「基本的な方針の考え方」 施設の解体を検討する。		

※集約・複合化の検討について

解体を検討しており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

解体を検討しており、公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

解体を検討しており、民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [10年以内]

10年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

解体までの間、老朽化による危険等が発生しないよう適切に管理する必要がある。

5 管理に関する実施方針

施設の解体を検討する。

6 管理に関する実施計画

施設の解体を検討する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	2	2	2	
修繕費				
光熱水費等	2	2	2	建物総合損害共済分担金
事業運営費				
合 計	2	2	2	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



357	施設名	旧種梅小学校（ポンプ室）
	部局(課)名	二ツ井地域局（総務企画課）
	所在地	二ツ井町種字下樋ノ口15-1
	施設面積	4.96㎡
	建設年	不詳

1 施設の概要

構造・階数	木造	台帳価格	83,100円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S45+耐用年数15年×1.2=S63

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	縮減対象	民間等への譲渡を検討
「基本的な方針の考え方」 平成27年に樋ノ口地区の水道用地として樋ノ口水道組合へ令和17年3月まで無償貸付の契約を交わしている。 建物の維持管理等の全てを樋ノ口水道組合が行うこととしており、組合への譲渡について検討する。		

※集約・複合化の検討について

水道供給施設であり、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

樋ノ口水道組合が維持管理している。

※民間等への譲渡の検討について

建物の維持管理等の全てを樋ノ口水道組合が行うこととしており、組合への譲渡について検討する。

3 目標使用年数 [11～21年以内]

水道供給施設であり、代替施設の整備等が無い限り、修繕等により機能維持しなければならない。

4 管理上の課題等

現状で損傷箇所等は見られないが、劣化による改修が見込まれる。
建物の改修を含む維持管理は樋ノ口水道組合が行う。

5 管理に関する実施方針

水道供給施設であり、その機能維持については、水道使用者に迷惑を掛けないう水道組合に申し入れしていく。

6 管理に関する実施計画

修繕箇所が見つかった場合は必要に応じ借受人に申し入れる。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.357

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



358	施設名	旧富根児童クラブ
	部局(課)名	二ツ井地域局（総務企画課）
	所在地	二ツ井町飛根字前田67-1
	施設面積	738.70㎡
	建設年	S55

※物置含む

1 施設の概要

構造・階数	木造一部鉄骨ほか	台帳価格	68,785,600円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数 到来年度	S55+耐用年数22年×1.2=H18

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－		－
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽		
基本的な方針	廃止	解体を予定	
「基本的な方針の考え方」 平成28年に富根土地改良区の事務所として令和8年3月まで無償貸付の契約を交わしている。建物の維持管理等の全てを富根土地改良区が行うこととしており、土地改良区への譲渡について検討する。 契約満了後活用の見込みが無ければ解体について検討する。			

※集約・複合化の検討について

貸付けしている間は、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

借受人である富根土地改良区が維持管理している。

※民間等への譲渡の検討について

建物の維持管理等の全てを富根土地改良区が行うこととしており、土地改良区への譲渡について検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

富根土地改良区が借受けしている令和8年3月までは機能維持に努めるが、その後活用の見込みが無ければ令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

現状で損傷箇所等は見られないが、劣化による改修が見込まれる。
建物の改修を含む維持管理は富根土地改良区が行う。

5 管理に関する実施方針

機能維持については、安全に使用するよう借受人に申し入れしていく。

6 管理に関する実施計画

修繕箇所が見つかった場合は必要に応じ借受人に申し入れる。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.358

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



359	施設名	旧切石児童クラブ
	部局(課)名	二ツ井地域局（総務企画課）
	所在地	二ツ井町切石字山根73-1
	施設面積	231.11㎡
	建設年	H1

1 施設の概要

構造・階数	木造	台帳価格	27,676,100円
行政・普通財産	普通財産	耐用年数到来年度	H1+耐用年数22年×1.2=H27

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 令和2年3月に民間事業者の研修施設として令和5年3月まで有償貸付の契約を交わしている。 契約満了後活用の見込みが無ければ解体について検討する。		

※集約・複合化の検討について

貸付けしている間は、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

借受人が維持管理している。

※民間等への譲渡の検討について

貸付しており、民間への譲渡を行っていないが、借受人などから申請があった際は検討する。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

貸し付けしている令和5年3月までは機能維持に努めるが、その後活用の見込みが無ければ令和11年以降の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

現状で損傷箇所等は見られないが、劣化による改修が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

機能維持については、安全に使用するよう借受人に申し入れしていく。

6 管理に関する実施計画

修繕箇所が見つかった場合は必要に応じ借受人と協議する。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.359

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



360	施設名	旧市民球場
	部局(課)名	総務部(財政課)
	所在地	盤若町64-39
	施設面積	14.89㎡ ①トイレ 9.93㎡ ②切符売り場 4.96㎡
	建設年度	①S29 ②S36

1 施設の概要

構造・階数	①②木造 平屋建	台帳価格	568,554円 ①462,925円 ②105,629円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	①S29+耐用年数15年×1.2=S47 ①S36+耐用年数24年×1.2=H1

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	—	2千円
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 令和2年度に解体予定。		

※集約・複合化の検討について

解体を予定しており、集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

解体を予定しており、公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

解体を予定しており、民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [10年以内]

令和2年度に解体予定。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

施設の解体を予定。

6 管理に関する実施計画

施設の解体を予定。

修繕等の実績及び今後の計画

23－その他施設No.360

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	2	2	2	
修繕費				
光熱水費等	2	2	2	建物総合損害共済分担金
事業運営費				
合 計	2	2	2	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	7,392	5,726	0	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等